

令和5年度 農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

令和5年12月8日（金）

◆調査箇所：片倉コープアグリ株式会社（日出町大字川崎）

【概要】

片倉コープアグリ株式会社は、大分県内の鶏ふんを用いた肥料のエコマスターペレットオール10を令和5年9月から販売するとともに、新たに養豚農家と協議し、令和6年に豚ふんを用いた肥料の試作を開始予定であるなど、県内堆肥の活用と農家の肥料コスト低減に寄与している。

今回の視察では、肥料の製造方法や未利用資源の肥料への活用事例等について説明を受け、工場を見学した。



<主な質疑等>

- ・鶏ふん利用による肥料成分の苦勞について
- ・臭い対策について
- ・養豚農家との連携について

◆調査箇所：株式会社大分くりき（日出町大字川崎）

【概要】

株式会社大分くりきは、大麦やとうもろこしを加工した単体飼料を製造・販売している企業であり、平成21年からは飼料用米の加工にも取り組んでいる。牛に飼料用米を与えるためには蒸気加熱後ロール機でつぶしてフレーク状にする圧ぺん加工が必要であり、当該企業はこの技術を持っており、令和4年に県内20戸、販売ベースで年間993トンの圧ぺん加工を行っている。

今回の視察では、今後、肉用牛への飼料用米を推進するために必須となる圧ぺん加工について説明を受け、工場にて圧ぺん加工の作業を見学した。



<主な質疑等>

- ・販売単価及び加工料金について
- ・飼料用米の確保及び補助金について
- ・工場の機械設備について